

コリント人への手紙第一 15章 1~11節 多くの人生を変えた1人の復活

今日はイースター、イエス・キリストの復活をお祝いする日です。神の摂理として、わたしたちはコリント人への手紙第一を学んできました。そして今日、イエス・キリストが復活したことを擁護する主要な箇所の一つにたどり着きました。15章は、将来わたしたちは神の民として復活することを主張しています。先週礼拝に参加された方はご存じだと思います。イエス・キリストは復活しました。この人類史上最高の出来事があったからこそ、わたしたちも、復活することができるという希望をいただくことができるのです。パウロは復活についての議論をこの15章からはじめます。コリント人への手紙第一 15章の1節と2節を見てください。1 **兄弟たち。私があなたがたに宣べ伝えた福音を、改めて知らせます。あなたがたはその福音を受け入れ、その福音によって立っているのです。2 私がどのようなことばで福音を伝えたか、あなたがたがしっかり覚えているなら、この福音によって救われます。そうでなければ、あなたがたが信じたことは無駄になってしまいます。**イースターのメッセージとは、イエス・キリストの福音のことなのです。Gospelという言葉は良い知らせという意味です。ここからパウロが語ることが何であれ、それを受け入れると人生が変わるようになります。なぜわたしがそんなことを言うのでしょうか？その理由は、パウロが語る福音のメッセージ、その内容のためです。パウロは言います。あなたがこのメッセージを受け取るならば、あなたは**立つ**力を得る...躓きや失敗を恐れずに人生を歩むことができる、と。パウロは、**救われます...**とも言っています。

ここにいらっしゃる方の中には、別に何もあぶない状況ではないのに...なぜ救いが必要なのか、そう考える人がいるかもしれません。そんな方に、**テサロニケ人への手紙第一 1章 10節**について考えて頂きたいのです。テサロニケ人への手紙 第一 1章 10節は言います。10 **御子が天から来られるのを待ち望むようになったかを、知らせているのです。この御子こそ、神が死者の中からよみがえらせた方、やがて来る御怒りから私たちを救い出してくださるイエスです。聖書が御子という場合、その御子とはイエス様のことです。イエス様は、わたしたちを激怒あるいは怒りから救い、解放してくださるのです。誰が怒っているのでしょうか？ヨハネの福音書 3章 36節をご覧ください。36 御子を信じる者は永遠のいのちを持っているが、御子に聞き従わない者はいのちを見ることなく、神の怒りがその上にとどまる。つまり、良い知らせとは、わたしたちは神の怒りから救われたので、人生に堅く立つことができるのだ、ということなのです。なぜ、わたしたちが神の怒りにさらされるのでしょうか？神とは、わたしたちの創造主です。当然、わたしたちが礼拝するに値するお方です。詩篇 139篇 14節は言います。14 **私は感謝します。あなたは私に奇しいことをなさって 恐ろしいほどです。私のたましいは それをよく知っています。**わたしたちは、自分自身が存在できるのは神のおかげであるから、神を礼拝します。わたしの人生とこの世界のすべては神のご栄光であると認めます。それなのに、わたしたちは皆、神を礼拝することに失敗しています。これが、罪を犯しているということなのです。ローマ人への手紙 3章 23節は言います。23 **すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、**ローマ人への手紙 3章 23節では、わたしたちが皆、創造主を拒んだ罪人であると宣言します。次のローマ人への手紙 3章 24節では、イエス様がわたしたちを救うために何をしたのかを語っています。24 **神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いを通して、価なしに義と認められるからです。**イエス・キリストがわたしたちのためにしてくださったことがあります。そのことゆえに、神は恵みによって、わたしたちを義と認めます。あるいは「無罪」と宣言して下さいます。こうして、神はわたしたちをご自分の怒りから救われるのです。**

罪を犯したわたしたちが神の怒りから救われる。そのために、イエス様がしてくださったことは何なのか。パウロは続けて示します。3節から4節を読みましょう。3 **私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、4 また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと...**これが福音の中心的な真理です。わたしたちは罪を犯しました。イエス様はその罪を身代わりに引き受けて死んで下さいました。これが良い知らせなのです。わたしたちの罪のために死ぬことによって、イエス様は聖書と預言のすべてを完全に成就しました。つまり、彼こそが、まさに旧約聖書の中で約束されていた救い主であることが証明されたのです。キリストが死んだことと、他の誰かが死んだこととは違っています...その証拠に、キリストが死んだことによって、わたしたちの罪が赦されたのです。パウロは基本的にこのようにまとめています。パウロ

は、イエスこそが本当にメシアあるいは救世主、ギリシャ語のキリストであると証明するために旧約聖書を引用しませんでした。その代わりに、彼はただキリストの死は**聖書に従っている**といっただけです。イザヤ書 53 章 4~5 節は、キリストの死を預言した旧約聖書の一例です。この聖句ではキリストの犠牲の死が必要であることを明確に示しています。⁴ まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みを担った。それなのに、私たちは思った。神に罰せられ、打たれ、苦しめられたのだと。⁵ しかし、彼は私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために砕かれたのだ。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、その打ち傷のゆえに、私たちは癒やされた。誰かが死なねばならなかったことは、明らかでした。誰かが、わたしたちが犯した罪のために神によって打たれ、罰せられるために死なねばならなかったのです。わたしたちが犯した罪は、誰かによって償われる。このことはとても重い真理なのです。イエス様がどのように預言を成就されたか。そのことは新約聖書のヘブル人への手紙、コリントの信徒への手紙第一、他の多くの巻き物に書かれています。ヘブル人への手紙 9 章 28 節は言います。28 キリストも、多くの人の罪を負うために一度ご自分を献げ、二度目には、罪を負うためではなく、ご自分を待ち望んでいる人々の救いのために現れてくださいます。聖書の中には、旧約聖書に書かれた預言が、数百年、数千年後にイエス・キリストによって成就されたことが、何度も何度も繰り返し示されています。生まれた場所はベツレヘム。育った場所はナザレ。こんな些細なことでも、旧約聖書の中には、イエスが誕生したときに救い主であることを証明するような事実が正確に預言されているのです。

パウロは、キリストの死と復活についての預言をまとめたに過ぎません。彼は、復活が本当に物理的に起こったことを擁護することに主眼を置いていました。その理由は、教会の中に誤った教えがはびこっていて、復活概念を攻撃していたからです。イエスが本当に死からよみがえったことを証明するために、パウロは 5 節から 9 節で復活を擁護しています。5 また、ケファに現れ、それから十二弟子に現れたことです。6 その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現れました。その中にはすでに眠った人も何人かいますが、大多数は今なお生き残っています。7 その後、キリストはヤコブに現れ、それからすべての使徒たちに現れました。8 そして最後に、月足らずで生まれた者のような私にも現れてくださいました。9 私は使徒の中では最も小さい者であり、神の教会を迫害したのですから、使徒と呼ばれるに値しない者です。この箇所について少し考えてみましょう。パウロが何を意図してこう言ったのか、その真意を理解したいと思います。そこで、皆さんと共に 1 世紀当時の教会の信徒達の立場になって考えてみたいのです。イエス様が最初に現れたのはケファだ、とパウロは言っています。それは使徒ペテロのことです。彼は教会の重要な指導者です。誰もが知っている人物です。当時生きていたクリスチャンはほとんど、ペテロがイエス様を 3 度拒絶した話を知っていた可能性があります。その後、このペテロは教会の初代リーダーの一人となり、ペンテコステで説教した時、何千人もの人がキリストに従いました。このペテロは、復活したイエス・キリストを体験したことで、すっかり変わってしまったのです。もし、イエス・キリストが復活などしなかったとします。それならば、ペテロのような人が、自分が強引に拒絶した死人に仕えようとしたことをどう説明するのでしょうか。ペテロは最終的に、イエス様が死人の中から復活したと宣言したために自ら十字架につけられました。このことをどう説明するのでしょうか。イエスは死からよみがえった後、12 人の弟子たちに現れたことを、パウロは指摘します。この一言にどれだけの根拠があるのか、もう一度考えてみましょう。もし、キリストの復活が現実の出来事でないとしたら。すると、12 人の男たちは狂っており、死ぬことを厭わずに嘘をつきとおして、同じ作り話を何度も何度も繰り返したことになるのです。12 人の男たちは、この地上の誰よりも身近にイエス様を知り、従いました。その男たちの 1 人 1 人が、一貫して、イエス様がわたしたちの罪のために死に、そして死からよみがえったと語っていたのです。このことを会衆に語ったために、1 人を除いて全員が殺されたのです。ヨハネは殺されませんでした。彼は生きたまま煮えたぎった油や水に落とされました。その後、孤島に流されたのです。イエスの伝記である新約聖書の福音書には、イエス様が 500 人に現れたということは書かれていません。しかし、この話はパウロも知るほどですから、教会では常識だったようです。もし、あなたが、イエス様が復活したことを信じられないとしたら。イエス様が復活したのを見た証人が 500 人います。その多くがまだ生きています。パウロはそう言っているのです。これは重要なことです。パウロはまるでこう言っているかのようです。つまり「もし、イエス様が本当に復活したという証言が欲しいなら、私に会いに来てくれれば、私の言っていることを証明してくれる他の大勢の人の名前を教えてください。」パウロは 8 節から 9 節でキリストが復活したことを示す明確な実例として自分自身

を指し示しますが、その前に、もう一度、その目撃者としてヤコブと 12 人の弟子または使徒に言及します。

パウロ自身が、なぜ、キリストの復活を証明する主要なものの 1 つになるのでしょうか。その理由は、イエス様が昇天した後に、パウロが復活したイエス・キリストに出会った出来事によって、彼の人生が変化したからです。9 節で、パウロ自身が「私は神の教会を迫害した」と指摘しています。神は、クリスチャンを迫害していたこの男を、誰よりも多くの世界を伝道するために、誰よりも多くの教会を建てるために用いられたのです。使徒の働き 7 章 58 節には、パウロがアラム語で「サウロ」と名乗ったことが初めて書かれています。この聖句には、ステファノがクリスチャンとして最初の殉教者となったときの出来事として、次のことが書かれています。58 そして彼を町の外に追い出して、石を投げつけた。証人たちは、自分たちの上着をサウロという青年の足もとに置いた。パウロは、文字通りこのクリスチャンの殺害を組織し、監督していました。彼の目的は、できるだけ多くのクリスチャンを投獄し、殺害することだったのです。このことはキリスト教界全体から知られていました。多くのクリスチャンを投獄殺害した功績によって、パウロは宗教関係者や政府の全面的な支持を受けて、高い地位にすらすら就いたのです。使徒の働き 9 章 1 節から 2 節にはこう書かれています。1 さて、サウロはなおも主の弟子たちを脅かして殺害しようと息巻き、大祭司のところに行って、2 ダマスコの諸会堂宛ての手紙を求めた。それは、この道の者であれば男でも女でも見つけ出し、縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。

しかし、この殺人者、全身全霊でイエス様を拒絶した罪人に対して、神は恵みを示されました。それも、奇跡的な方法で示されたのです。使徒の働き 9 章 3 節から 5 節は続けます。3 ところが、サウロが道を進んでダマスコの近くまで来たとき、突然、天からの光が彼の周りを照らした。4 彼は地に倒れて、自分に語りかける声を聞いた。「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか。」5 彼が「主よ、あなたはどなたですか」と言うと、答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。復活したイエス様が、この罪人に憐みの手を差し伸べました。この神との恵みの出会いが、パウロの人生を完全に変えました。10 節から 11 節でパウロが言いたかったことは、彼自身の人生がキリストの迫害者から宣教者へと劇的に変化したことなのです。10 ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは無駄にはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。働いたのは私ではなく、私とともにあった神の恵みなのですが。11 とにかく、私にせよ、ほかの人たちにせよ、私たちはこのように宣べ伝えているのであり、あなたがたはこのように信じたのです。パウロは、キリスト教徒を殺す事からキリストを説く事へと向かったのです。彼はクリスチャンを嫌悪した者からクリスチャンの仲間となったのです。パウロは、キリスト教の普及を阻もうとした者から、神に用いられて、イスラエルの国境をはるかに越えてキリスト教を普及させる者になったのです。彼の説教のおかげで、人々はイエスを信じ、いくつもの教会が建てられ、福音が広まったのです。もし、イエス様についてのメッセージが本物でないとしたら、もし、イエス様の復活が本物でないとしたら、パウロの人生が変化したことを、どう説明するのでしょうか。殺人者に恵みの手を差し伸べて、彼の命を救い、世界を変えるために利用する。これは、神の恵みによってのみ可能なのです。パウロの説教が、まさにキリスト教を世界的に普及させたのです。

パウロが信じたこと、彼が説いたメッセージほど、イースターにふさわしいメッセージはないでしょう。イースターのメッセージとは、パウロが福音を信じたとき、彼の人生を変えたメッセージと同じものなのです。あなたが創造主の目には罪人であっても、神ご自身が人間となられたイエス・キリストは、あなたの罪のために死んでくださったのです。そして、あなたの罪のためにイエス・キリストが死んだことによって、神はあなたが想像する以上の恵みと好意を示してくださったのです。あなたの罪は、あなたに永遠の死だけをもたらします。ローマ人への手紙 6 章 23 節は言います。23 罪の報酬は死です。しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。あなたの罪は、わたしたち全員を待ち受ける地獄という刑罰の場での永遠の死に値するものです。それは、想像を絶するものなのです。しかし、神の恵み、わたしたちに対する神の無償の好意は、あなたが経験したいと望むことよりも、はるかに大きいものです。イエス様が復活したおかげで、永遠の死ではなく、永遠のいのちという希望があるのです。永遠のいのちには、新しい人生が約束されています。つ

まり、わたしたちを導き、支えてくれる神の恵みによって、わたしたちが完全に神の栄光の目的のために生きるようになるのです。

どのようにして救いを受けるのでしょうか？どのようにして神の恵みを体験するのでしょうか？2節を振り返ってみてください。2 **私がどのようなことばで福音を伝えたか、あなたがたがしっかり覚えているなら、この福音によって救われます。そうでなければ、あなたがたが信じたことは無駄になってしまいます。**わたしたちは、信仰によって神の恵みを受けています。この信仰とは、パウロがここで与えた真理を固く信じていることです。つまり、イエス様があなたの罪のために死んで復活したことを固く信じていることなのです。わたしたちは、罪を悔い改め、イエス様を受け入れて信頼します。わたしたちは、イエス様こそ、わたしたちの唯一の希望であると受け入れて信頼し、わたしたちの唯一の救いの源であると受け入れて信頼し、罪からの赦しであると受け入れて信頼するのです。信仰は神からの賜物です。神がわたしたちに信じる力を与えてくださいます。神は、パウロがここで説いている福音、彼がここで説いている御言葉によって、わたしたちにキリストを信じて生きる恵みを与えて下さるのです。信仰によって生きる人生、それは復活の人生であり、新しい人生であり、変化した人生なのです。常に順風満帆とはいきませんが自由な人生なのです。その自由は、10節に書かれていることからもたらされます。**私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。働いたのは私ではなく、私とともにあった神の恵みなのですが。**キリスト教は修行の宗教ではありません。しなければならぬことがあり、しなくてもよいことがあります。わたしたちが神の栄光のために行う「仕事」ですら、実はわたしたちの仕事ではなく、聖霊である神がわたしたちをとおして働いてくださるのです。パウロはそういう意味を込めて、誰よりも頑張っているのは「私ではなく」と言っています。パウロはフィリピの信徒への手紙の中で、別の言い方をしています。ピリピ人への手紙2章13節は言います。13 **神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる方です。**この聖句のように、わたしたちは、イエス・キリスト、彼の死、彼の復活をしっかりと信じます。そして、神の栄光のために働きます。すると、この世に本当の安らぎと喜びを見出すことができるようになります。パウロは、イエス様が本当に死からよみがえった事を、最強な方法で証明しました。聖書には、イエス様以外にも神が死者を生き返らせた事例がいくつかあります。しかし、その人たちはみな再び物理的に死んでしまいました。イエス様はそうではありませんでした。彼は復活しました。彼は今も生きています。イエス様は、ご自分を信じるすべての人に、罪が赦される唯一の希望として、神の恵みを注いでくださるのです。今日、あなたはイエス様を信じますか？あなたは、イエス様に対して、あなたの創造主である神に対して、罪を犯したことを認識していますか？あなたは自分の罪を悔い改め、イエス・キリストをあなたの主であり救い主として受け入れますか？

わたしは、今日ここにいるクリスチャン、つまり、すでに罪を悔い改め、イエス・キリストを主であり救い主として受け入れている人たちに焦点を当て、締めくくりたいと思います。パウロが言うように、あなたは恵みが無駄にならないように、その恵みがあなたをとおして働くようにしていきますか？あなたはその恵みによって救われます。あなたが救われる目的は、神に仕え、神の栄光のために生きるためなのです。自分の思いや自分の利益や幸せのために生きる人生は、主の恵みによって生きる人生ではないし、主の栄光のために生きる人生でもないのです。2節には、"**そうでなければ、あなたがたが信じたことは無駄になってしまいます。**"とあります。パウロはハッキリと言っています。イエス様の復活は本物であり、あなたは無駄に信じたわけではないのだ、と。あなたは、神の恵みによって罪から本当に救われました。あなたの信仰は無駄ではありません。あなたは本当に救われました。それなのに、あなたは無駄で虚しい生き方をしますか？それとも、神の栄光を現わすために、神の恵みによって生きますか。神の恵みによって生きることが、地上における真の喜びへの道です。わたしたちの救いのために命そのものを与えてくださった方のために、ほとんど何もできなかったとしても、わたしたちは、そのことを恥じることなく、将来の復活に喜びを抱いて臨むことです。わたしたちはイエス様の恵みによって救われました。わたしたちは、この恵みによって生きる必要があります。祈りましょう。

1 Corinthians 15:1-11 A Resurrection that Changed Lives

Today is Easter, and we are celebrating the resurrection of Jesus Christ. In God's providence, we have come to one of the primary passages defending the resurrection of Jesus Christ in our study of First Corinthians. For those of you who were here with us last week, you know that chapter 15 is primarily defending our future resurrection as the people of God. But that hope of our resurrection is only possible because of the greatest event in human history, the resurrection of Jesus Christ. So, of course that is where Paul actually begins this chapter. Look at verses 1 and 2 of 1 Corinthians 15. **15 Now I would remind you, brothers,^[a] of the gospel I preached to you, which you received, in which you stand, ² and by which you are being saved, if you hold fast to the word I preached to you—unless you believed in vain.** The message of Easter is the gospel of Jesus Christ. The word Gospel means good news! Whatever Paul says after this is something that is life changing to those who accept it. Why do I say that? Because of what he says about this gospel message. He says if you received this message, then you have the strength to **stand...** to go through life without fear of falling or failure. He also says that you **are being saved...**

You may be here and thinking, I'm not in danger...why would I need saving? I would ask you to consider a verse, **1 Thessalonians 1:10.** It says, **10 and to wait for his Son from heaven, whom he raised from the dead, Jesus who delivers us from the wrath to come.** When the Bible speaks of the Son of God, it is speaking of Jesus. And, Jesus saves or delivers us from wrath or anger. Who's anger? Look at another verse, **John 3:36.** **36 Whoever believes in the Son has eternal life; whoever does not obey the Son shall not see life, but the wrath of God remains on him.** So, the good news is that we stand firm in life because we are saved from God's wrath. But why would we be under God's wrath? He is our creator who rightfully deserves our worship. **Psalm 139:14** says, **I praise you, for I am fearfully and wonderfully made. Wonderful are your works, my soul knows it very well.** But though we owe God our very existence and therefore our worship and giving all the glory of this life and this world to him, we have all committed sin by failing to do that. **Romans 3:23** says, **23 for all have sinned and fall short of the glory of God.** But then right after declaring that we are all sinners who rejected our creator, we are told in Romans 3:24 what it is that Jesus did to save us. **24 and are justified by his grace as a gift, through the redemption that is in Christ Jesus.** We are saved from God's wrath by God's grace that justifies us or declares us to be "not guilty" of our sin, because of what Jesus Christ did for us.

This is where Paul now continues by showing us what it was that Jesus did for us so that we could be saved from God's wrath against our sin. Read verses 3-4 **3 For I delivered to you as of first importance what I also received: that Christ died for our sins in accordance with the Scriptures, ⁴ that he was buried, that he was raised on the third day in accordance with the Scriptures...** This is the central truth of the gospel message. It is the good news that even though we have sinned, Jesus Christ himself died for those sins. In so doing, he completely fulfilled all of Scripture and prophecy, which proved that he was indeed the Savior that had been promised throughout the Old Testament. Paul is basically giving a summary of proof that Christ's death was different...that unlike other deaths it brought about forgiveness for our sin. Instead of going through the Old Testament to prove that Jesus was indeed the Messiah, or Savior, or Christ in Greek, he simply said that Christ's death was **in accordance with the Scriptures.** **Isaiah 53:4-5** gives us just one example of this Old Testament prophecy that clearly showed the need for a sacrificial death. **Surely he has borne our griefs and carried our sorrows; yet we esteemed him stricken, smitten by God, and afflicted. But he was pierced for our transgressions; he was crushed for our iniquities; upon him was the chastisement that brought us peace, and with his wounds we are healed."** Clearly, someone was to die, and by that death be smitten or punished by God for our sins. That's a very

heavy truth, that our sins would be paid for by someone else. Then in the New Testament book of Hebrews, in addition to here in 1 Corinthians and many other places, we read how Jesus fulfilled that prophecy. [Hebrews 9:28](#) says, [so Christ, having been offered once to bear the sins of many, will appear a second time, not to deal with sin but to save those who are eagerly waiting for him.](#) Over and over we see the same thing in the Bible, that prophecies written in the Old Testament are fulfilled in Jesus Christ hundreds and even thousands of years later. Even in such seemingly small details like place of birth, Bethlehem, and where he would grow up, Nazareth, the Old Testament prophecies accurately facts about Jesus that would prove he was the Savior when he came.

And while Paul only summarized the prophetic aspects of Christ's death and resurrection, his main focus is on defending the physical aspect of the resurrection since the concept of resurrection was being attacked by false teaching in the church. So in verses 5-9, Paul defends the resurrection to prove that Jesus really did rise from the dead. [⁵and that he appeared to Cephas, then to the twelve. ⁶Then he appeared to more than five hundred brothers at one time, most of whom are still alive, though some have fallen asleep. ⁷Then he appeared to James, then to all the apostles. ⁸Last of all, as to one untimely born, he appeared also to me. ⁹For I am the least of the apostles, unworthy to be called an apostle, because I persecuted the church of God.](#) Don't just skip over these verses. In order to really grasp the significance of what Paul is saying, try to put yourself in the place of a first century member of this church. Paul says that Jesus appeared first to Cephas. That is the Apostle Peter. He is a significant leader in the church. Everyone knows who he is. And it is likely that most Christians alive at that time may have known the story of this man who rejected Jesus three times but then went on to be one of the original leaders of the church and the man who preached at Pentecost and saw thousands follow Christ. Experiencing the resurrected Jesus Christ had completely changed this man. If the resurrection of Jesus Christ is false, how do you explain a man like Peter's willingness to serve a dead man he had forcefully rejected and ultimately being crucified himself for proclaiming that this man, Jesus, had risen from the dead. Then Paul points out that Jesus appeared to the 12 disciples after he was raised from the dead. Once again, think about how much proof there is in this one simple statement. If Christ's resurrection was not a real event then you have the same made up story repeated over and over by 12 crazy men willing to die for their lie. Each of these 12 men who followed and knew him closer than any other people on earth consistently said that Jesus both died for our sins and then rose from the dead. All but 1 of them was killed for preaching that message. And John who was not killed was boiled alive in oil or water and then exiled to a lonely island when he didn't die. The gospels in the New Testament which are the biographies of Jesus don't tell us about his appearing to 500, but apparently this was common enough knowledge in the church that Paul knew about it. It is significant, because he is saying if you don't believe me, there are 500 witnesses that saw Jesus resurrected, and many of them are still alive. It was as if he was saying, come see me and I'll give you the names of a lot of other people who will verify what I am saying if you want a lot more eyewitness proof. Then he returns to specifically James and the 12 disciples or apostles again, before pointing to himself as a clear example of Christ's resurrection in verses 8-9.

Why is Paul himself one of the primary proofs of Christ's resurrection? It is the change that came in his life from meeting the resurrected Jesus Christ after Jesus had left this earth by ascending back into Heaven. Paul himself points out in verse 9, [I persecuted the church of God.](#) God took this man who persecuted Christians, and used him to evangelize more of the world and plant more churches than possibly any person since. In [Acts 7:58](#), we see the first mention of Paul using his name in Aramaic, Saul. In the events surrounding the killing of

the first Christian martyr, Stephen, we read, **58 Then they cast him [Stephen] out of the city and stoned him. And the witnesses laid down their garments at the feet of a young man named Saul.** Paul was literally organizing and overseeing the murder of this Christian, and he was known by the entire Christian community as someone whose entire goal was to imprison and kill as many Christians as he could. And in doing that he had the full support and even high standing in the eyes of the religious officials and therefore the government. **Acts 9:1-2** tells us **But Saul, still breathing threats and murder against the disciples of the Lord, went to the high priest and asked him for letters to the synagogues at Damascus, so that if he found any belonging to the Way, men or women, he might bring them bound to Jerusalem.**

But to this murderous sinner, who rejected Jesus with every part of his being, God showed his grace in a miraculous way. **Acts 9:3-5** continues. **³ Now as he went on his way, he approached Damascus, and suddenly a light from heaven shone around him. ⁴ And falling to the ground, he heard a voice saying to him, "Saul, Saul, why are you persecuting me?" ⁵ And he said, "Who are you, Lord?" And he said, "I am Jesus, whom you are persecuting.** This gracious meeting with God, where the risen Jesus himself reached out in mercy towards this sinner completely changed Paul's life. And that is his focus as he ends his first words on resurrection in verses 10-11. **But by the grace of God I am what I am, and his grace toward me was not in vain. On the contrary, I worked harder than any of them, though it was not I, but the grace of God that is with me. ¹¹ Whether then it was I or they, so we preach and so you believed.** He went from killing Christians to preaching Christ. He went from hating Christians to being one of them. He went from trying to stop the spread of Christianity to being used by God to spread it far beyond the border of Israel. Because of his preaching, people believed in Jesus, churches were planted, and the gospel spread. If the message of Jesus was not real, if the resurrection of Jesus is not real, then how do you explain this life change. It is only through the grace of God, to reach down to a murderous sinner and save his life and use him to change the world. The worldwide spread of Christianity is directly attributable to the preaching of Paul.

There is no better message I can give you on Easter than the one that Paul believed and preached. The same message that changed his life when he believed it. That even though you are a sinner in the eyes of your creator, Jesus Christ, God himself who became human, died for your sin. And in that act, God showed you more grace, more favor, than you can ever imagine. Your sin brings you only eternal death. **Romans 6:23** says, **23 For the wages of sin is death, but the free gift of God is eternal life in Christ Jesus our Lord.** Your sin is far worse than you can imagine and deserves the eternal death in a place of punishment called hell that awaits all of us. But God's grace, his undeserved favor towards us is far greater than you could ever hope to experience. Because of Jesus' resurrection, there is the hope of eternal life instead of eternal death. There is the promise of a changed life that is lived for the purpose of God's glory completely by his grace that guides us and sustains us.

How do you access this salvation? How do you experience God's grace? Look back at verse 2. **...by which you are being saved, if you hold fast to the word I preached to you—unless you believed in vain.** We access God's grace by faith. This faith is believing, holding fast to the truth that Paul has given here – that Jesus died and rose again for your sin. We repent of that sin and we trust in Jesus by accepting him as our only hope, our only source of salvation and forgiveness from our sin. That faith is a gift from God himself whereby he gives us the ability to believe and then the grace to live by our faith in Christ, by the gospel, the Word that Paul is preaching here. It is a life of resurrection, a new life, a changed life that will not always be easy, but will be one of freedom. That freedom comes because of what verse 10 says, **I worked harder than any of them, though it was not I, but the grace of**

God that is with me. Christianity is not a religion of works, of things you have to do and other things you don't have to do. Even the "work" we do for God's glory is not truly our work, but God the Holy Spirit working through us. That is why Paul says here, "**it was not I**" working harder than any of them. Paul puts it another way in his letter to the Philippians. **Philippians 2:13 says, 13 for it is God who works in you, both to will and to work for his good pleasure.** So with our faith firmly resting in Jesus Christ and his death and resurrection, we can work for God's glory and in so doing find real rest and joy in this life. Paul has proved in the strongest way possible that Jesus really did rise again from the dead. While there were a few other cases of God raising the dead to life in the Bible, all of those people physically died again. Jesus did not. He rose again, and continues to live and pour out on all who believe in him God's grace that is our only hope for forgiveness for our sin. Do you believe in Jesus today? Do you recognize that you have sinned against him, against God, your creator? Will you repent of your sin and accept Jesus Christ as your Lord and Savior?

I want to close though, with a focus for Christians here today, those who already have repented of their sin and accepted Jesus Christ as Lord and Savior. Will you allow his grace to work through you so that his grace is not in vain, as Paul puts it? His grace will save you, but he saves you for the purpose of serving him and living to his glory. A life lived to serve ourselves and what we perceive as our best interest and happiness is not a life lived by his grace and for his glory. Verse 2 says, "unless you believed in vain." Paul's clear answer to that is that Jesus' resurrection is real and you have not believed in vain. God's grace really has saved you from your sin. Now, since your faith is not in vain and really has saved you, are you going to live your life in a useless and vain way? Or, are you going to live it by God's grace, for his glory. That is the way to true joy in this life, to entering into our future resurrection with rejoicing and not shame at how little we did for the one who gave his very life for our salvation. We are saved by his grace and we need to live by his grace. Let's pray.